

令和4年度男女共同参画推進委員会委員からの質問への回答

担当課	健康づくり課
シート作成担当者 係・氏名	健康支援係 古荘久実
連絡先電話番号	

アンケートにて質問のあった事業について

番号	5
項目	子育て支援事業の充実
事業名	子育て世代包括センターの運営
令和5年度目標	子育て世代包括支援センターの相談件数 1050件
現状値・現状 (平成30年度)	子育て世代包括支援センターの相談件数 360件
聞いてみたいこと ※	島田版「ネウボラ」として、全国的にも注目度の高い事業と思います。実際の運営状況、利用状況、特に利用者のニーズとうまくマッチした運営ができているかどうか、また実際に運営してみて明らかになってきた改善すべき点や課題は何か、などについて教えて下さい。

上記「聞いてみたいこと※」に対する回答、課題、今後の方向性

【運営状況・利用状況】令和3年度実績

- 相談事業 相談件数 延 1,066件(来所:355件、電話:711件)
相談者 妊婦:184件、乳幼児の保護者等:882件
相談内容 体調管理:98件、発育・発達:179件、育児・生活習慣:321件、栄養相談:16件、メンタル:213件
予防接種:88件、健診:39件、その他:112件

○妊娠期の健康教育「フレッシュ!! パパママ教室」

産後安心して育児ができるように、心身ともに新生児を迎える準備をすることを目的とした教室。

4期(1期2回)開催 参加人数:151人 *コロナウィルス感染拡大予防で令和3年度2期2回目、4期2回目は中止した。

○訪問活動 訪問数延191件

○ケース会議、他機関との連携 支援者会議:33件、ケース連絡会:15件

相談件数は増加し、担当保健師を指名した相談も少しずつ増えてきている。島田市版ネウボラを推進するため、健診等の実施方法の変更や妊娠期の教室を開始しており、参加者からは「担当の保健師さんと話せて安心しました」や「(赤ちゃん訪問に)担当の保健師さんがきてくれますか」等の声も聞かれている。

【課題・今後の方向性】

妊娠期からの切れ目ない支援を実現するために、担当保健師と対象の家庭がお子さんの健診等で面談する機会を確保していきたいが、確実に面談できる機会を確保することが難しい状況である。アンケート等実施し評価しながら今後の取り組みは検討していく。

令和4年度男女共同参画推進委員会委員からの質問への回答

担当課	人事課
シート作成担当者 係・氏名	人材育成・活用担当 榛葉広明
連絡先電話番号	

アンケートにて質問のあった事業について

番号	29
項目	女性職員の管理・監督者への登用促進
事業名	管理職(係長職含む。)への能力、適性に応じた登用
令和5年度目標	係長職以上の女性の登用率(%) 24.6%
現状値・現状 (平成30年度)	係長職以上の女性の登用率(%) 18.4%
聞いてみたいこと ※	目標達成のための取組として「男性職員の育児参画を促進するため休暇制度を拡充し---」とありますが、実際この取組がどのように行われ、どの程度休暇取得が促進されたのか、定性的、定量的なデータと、女性管理職登用促進への効果の検証結果をお示しいただければと思います。

上記「聞いてみたいこと※」に対する回答、課題、今後の方向性

男性職員が育児参画できるよう、配偶者出産休暇や育児参加休暇を取得できる職員に直接周知するなどしております。令和3年度において、対象者8人のうちそれぞれ5人が配偶者出産休暇及び育児参加休暇を取得しています。適宜、掲示板でも周知しており、職員の認識も進んでいると感じています。

なお、令和3年度から令和4年度にかけて、育児休業取得の回数、期間を緩和し、取得しやすい改正を行っております。女性管理職登用促進については、性別に関係なく人事異動を行った結果であり、能力が高い職員を積極的に登用することで組織力の向上が可能となっていると評価しています。

令和4年度男女共同参画推進委員会委員からの質問への回答

担当課	人事課
シート作成担当者 係・氏名	人材育成・活用担当 榛葉広明
連絡先電話番号	

アンケートにて質問のあった事業について

番号	4
項目	市職員におけるワーク・ライフ・バランスの促進
事業名	効率的な業務遂行と毎週水曜日は定時退庁日等の徹底
令和5年度目標	時間外勤務時間(時間) 54,200時間
現状値・現状 (平成30年度)	時間外勤務時間(時間) 55,213時間
聞いてみたいこと ※	<p>土・日・祝日に夕方5時近くに出勤し、深夜(23時～未明)まで長時間の残業をされている方は、皆無となりましたでしょうか。職員の勤務実態データと、上記の問題となるような勤務実態があればデータを提示願います。また、今後の対応方策をお示し願います。</p> <p>幹事会からの指摘により「実績・評価理由について」欄が修正され、評価もCからAに変更されておりました。</p> <p>実績値として平成30年度(前第2次)より悪くなっているにも関わらず、A評価(概ね達成することができた)に修正する理由(評価方法)を教えてくださいませんか。それも第3次3年目時点での修正ですね。このような傾向は、客観的振り返りができず的外れな次への取り組み策定となっていきませんかでしょうか。</p>

上記「聞いてみたいこと※」に対する回答、課題、今後の方向性

令和3年度において、ご質問のあった、土・日・祝日に夕方5時近くに出勤し、深夜(23時～未明)まで長時間の残業をしたケースは2件ありました。午後5時23分から午後11時9分というものと、午後4時36分から午後11時5分というケースです。深夜までの勤務については、随時人事課より所属長に報告し、状況を確認し、改善を依頼しています。

「実績・評価理由について」欄の修正については、幹事会からご指摘いただき令和3年度のみA評価としたつもりが、令和元年度及び令和2年度もA評価となってしまうっており、確認不足でした。2年度ともC評価でお願いします。大変申し訳ございません。

令和4年度男女共同参画推進委員会委員からの質問への回答

担当課	福祉課
シート作成担当者 係・氏名	生活福祉係 村松由紀子
連絡先電話番号	

アンケートにて質問のあった事業について

番号	72
項目	生活困窮者の自立支援
事業名	生活困窮者の自立支援
令和5年度目標	自立相談支援事業における支援計画(プラン)作成(件) 67件
現状値・現状 (平成30年度)	自立相談支援事業における支援計画(プラン)作成(件) 62件
聞いてみたいこと ※	事業番号70、71、72は関係が深く、社会教育課、商工課、福祉課及びハローワークも含めた連携作業が必要と思います。生活困窮者が生活保護に頼らず自立できる支援計画を、福祉課が主体となって上記関係課とハローワークとの連携で具体化していきますようよろしくお願いいたします。

上記「聞いてみたいこと※」に対する回答、課題、今後の方向性

本事業では、月例の支援調整会議において、自立相談支援を行う島田市社会福祉協議会、福祉課、ハローワークなどの関係機関が協議し支援計画の決定を行っています。
 今後も、社会教育課、商工課、ハローワークなどにご協力をいただきながら、1人1人の自立支援を推進していきます。

令和4年度男女共同参画推進委員会委員からの質問への回答

担当課	市民協働課
シート作成担当者 係・氏名	女性活躍推進担当・杉本
連絡先電話番号	

アンケートにて質問のあった事業について

番号	77
項目	市民への意識調査の実施
事業名	市民を対象とした意識調査の実施
令和5年度目標	確認・見直しをした設問数 13個設問検討の打ち合わせ回数 1回有効回答率 50%(R5実施)
現状値・現状 (平成30年度)	推進委員等と設問内容を検討し、6～7月に実施された島田市総合計画市民意識調査に、男女共同参画に関する設問を加えて実施した。 実施期間 H30.6.21～H30.7.31 対象者 20歳以上の市民2500人 回答数 952人 有効回答率 38.1%
聞いてみたいこと ※	第4次計画策定前に行い、第3次振り返り、第4次への展開となり非常に重要な調査と思います。十分に生かされる事を願っております。 平成30年度に行われた際は、どのような振り返り、3次計画策定への展開があったかを教えてください。又、その際の取り組みから第4次計画策定にあたり活かしたい点等ございますでしょうか？

上記「聞いてみたいこと※」に対する回答、課題、今後の方向性

平成30年度に実施した市民意識調査結果から、現行計画へ反映された主な点としては、ワーク・ライフ・バランスへの意識の高まりや、女性の働き方に関する意識調査の結果から、「ワーク・ライフ・バランスの推進」「就労の場における女性の活躍推進について」を重点施策としています。その他、男女共同参画の意識や慣行や、男女平等への意識などの項目は、前々回調査時の平成25年度からは概ね上昇しているものの、未だ平等には程遠い数値となっています。そのため、来年度実施予定の市民意識調査についても、基本的な項目は踏まえつつ、多様性・ダイバーシティに関する事など、新しく必要となる視点を盛り込みながら設問の設定を行い、実施していきたいと考えております。

令和4年度男女共同参画推進委員会委員からの質問への回答

担当課	市民協働課
シート作成担当者 係・氏名	女性活躍推進担当・杉本
連絡先電話番号	

アンケートにて質問のあった事業について

番号	99
項目	国際社会の情報の収集と提供
事業名	男女共同参画に関する国際的な情報の提供
令和5年度目標	啓発情報紙への掲載 1回ホームページでの情報提供 1回
現状値・現状 (平成30年度)	情報紙パレットへ、世界経済フォーラムが調査している「ジェンダーギャップ指数」を掲載した。
聞いてみたいこと ※	先進事例等の情報とは、今までどのようなものがありましたか？「ジェンダーギャップ指数」掲載とありますがより市民の方々がなかなか取る事が出来ない事例を紹介して頂くと、一層男女共同参画の理解を深め、身近な活動と感じ推進が進むのではと思います。 是非、推進担当課の切り口で世界での実態、日本との違い、推進状況等をビジュアルに事例紹介して頂く事を望みます。

上記「聞いてみたいこと※」に対する回答、課題、今後の方向性

ジェンダーギャップ指数は、国ごとのジェンダー平等に関する代表的な指標であり、国際的な日本の位置付けを知るきっかけとなるため、取り上げています。それ以外の市民があまり知り得ない事例紹介といたしますと、個別の事例は市でも多くは存じ上げていないものも多いかと思えます。例えば、内閣府が発行している男女共同参画の情報誌「共同参画」では、国が取り組んでいる男女共同参画施策や調査結果、最新の問題・話題、国際社会における男女共同参画の推進状況などが取り上げられています。そういった情報を活用し、市民に向けても的確に意識啓発を図っていきたいと思えますので、委員の提案にあったようなビジュアルを生かした事例紹介等も検討していきます。

令和4年度男女共同参画推進委員会委員からの質問への回答

担当課	市民協働課
シート作成担当者 係・氏名	女性活躍推進担当・杉本
連絡先電話番号	

アンケートにて質問のあった事業について

番号	11・13
項目	育児休業体制の周知、利用の啓発家庭生活への男性の参画促進に関する啓発
事業名	育児休業体制の周知、利用の啓発家庭生活への男性の参画促進に関する啓発
令和5年度目標	啓発情報紙パレットや広報しまだ等への記事掲載1回 ホームページ等での情報提供1回 啓発情報紙パレットや市ホームページ、広報しまだへの記事掲載 年1回 ワークライフバランスに関する講座 参加者数50人
現状値・現状 (平成30年度)	啓発情報紙パレットへの記事掲載 年1回 男性の家庭生活への参画促進についての記事掲載0回 ワークライフバランスに関する講座参加者27人
聞いてみたいこと ※	目標を達成させるための取組を実施したか、しないかだけの評価では肝心の目標評価(周知、啓発)を見失いがちとなり、思うような推進が進みません。 よって周知、利用の啓発及び促進に関する啓発等の目標達成確認は島田市LINEアンケートを利用されるのもいかがでしょうか。

上記「聞いてみたいこと※」に対する回答、課題、今後の方向性

現行の行動計画では、実績など具体的な調査結果などを持ち合わせていなかったため、啓発の実施のみの実績評価となっていました。委員のおっしゃるように、目標達成の確認のためには、事業実施によって変化する数値(認知度や産休育休への意識や取得状況など)を指標とするのが適切だと考えます。LINEをはじめとしたウェブの活用など、周知・啓発及び市民の声を聞く方法について検討していきます。